

富士市内の撮影における感染症対策同意書

R3. 4.28 更新

- ・ 手指と設備の衛生を保つための消毒液を用意する。
- ・ スタッフ全員の氏名、連絡先のリストを作成し、緊急時に共有できる準備をする。
- ・ 検温については撮影・ロケハン前日及び当日の撮影・ロケハン開始前にスタッフ全員に施行すると共に、撮影中は定期的に検温を実施する。
- ・ 作業中スタッフはマスクの着用またはフェイスシールドの着用を義務とし、定期的に手指の消毒もする。
- ・ 地元の方とは、出来るだけ不要の会話など接触を避け、必要な場合は2m以上の間隔を維持する。
- ・ 撮影・ロケハン終了後、使用箇所の原状復帰に加え、使用箇所を隅々まで消毒をする。
- ・ 37.7℃以上の熱が関係者から出た場合、または感染症と思われる症状がみられる場合は、適切に対応し、その時点で人口密集地や屋内での撮影を中止する。
- ・ 撮影関係者からコロナ陽性または擬陽性者が出た段階で撮影を一旦中止し保健所の支持を仰ぎ、それ以降の撮影は専門機関の支持に従う。
- ・ 突発的に静岡県内で感染症拡大が懸念される事態がおきた場合、該当する自治体からの要請に従います。

富士市内および近郊で撮影を行うに際して、上記の条件に同意します。

令和 年 月 日

作品タイトル _____

団体名 _____

住所 _____

代表者名 _____ (印)

連絡先 _____